

令和8年(2026年)度 年間授業計画(シラバス)									
学年	1	学科	全学科	単位	2単位	教科	理科	科目	科学と人間生活
学習教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>改訂版 科学と人間生活(数研出版)</li> <li>改訂版 準拠 科学と人間生活 サポートノート(数研出版)</li> </ul>								
学習目標	<p>(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて観察、実験などを通して理解する。</p> <p>(2) 観察、実験の結果やデータから科学的に探究する手法を身に付ける。</p> <p>(3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的思考を生かして問題を解決しようとする態度を身に付ける。</p>								
単元と学習内容									
1 学期	科学技術の発展  物質の科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解し、科学技術の発展と人間生活との関わりについて科学的に考察し表現する。</li> <li>身近な材料に関する観察、実験などを行い、金属やプラスチックの種類、性質及び用途と資源の再利用について、日常生活と関連付けて理解する。</li> </ul>							
2 学期	生命の科学  光や熱の科学	<ul style="list-style-type: none"> <li>微生物に関する観察、実験等を行い、微生物の働きを人間生活と関連付けて理解し、科学的に考察し表現できるようになる。</li> <li>熱に関する観察、実験などを行い、熱の性質、エネルギーの変換と保存及び有効利用について、日常生活と関連付けて理解する。</li> </ul>							
3 学期	宇宙や地球の科学  これからの科学と人間生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然景観と自然災害に関する観察などを行い、身近な自然景観の成り立ちと自然災害について、人間生活と関連付けて理解する。</li> <li>自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえ、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。</li> </ul>							
評価									
評価の観点		到達度目標「B」(おおむね満足できる)の規準				評価のフィードバック			
						1期末	2期末	学年末	
①	知識・技能	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、観察、実験などを通して理解し、知識、技能を身に付けている。				○	○	○	
②	思考・判断・表現	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題点を見出し、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。				○	○	○	
③	主体的に学習に取り組む態度	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。				○	○	○	
評価方法	①		②			③			
	⑦定期考査 ①副教材 ⑨実験プリント・ワークシート		⑦定期考査 ①副教材 ⑨実験プリント・ワークシート			⑦定期考査 ①副教材 ⑨実験プリント・ワークシート			